

第74回
ベルリン国際映画祭
フォーラム部門正式出品

第28回 釜山国際映画祭
ワイドアングルドキュメンタリー
コンペティション部門 ビーフメセナ賞受賞

第16回 座・高円寺
ドキュメンタリーフェスティバル
コンペティション部門大賞受賞

第43回 ジャン・ルーシュ国際映画祭
国際コンペティション部門「生きている遺産賞」受賞
第12回 ムジュサンゴル映画祭 最優秀賞・観客賞ダブル受賞
第49回 ソウル独立映画祭「独不将軍賞」(※特別賞)受賞
第12回 ワイルドフラワー映画賞(野の花映画賞) 大賞受賞
第61回 百想芸術大賞 映画部門ノミネート
第22回 リスボン国際ドキュメンタリー映画祭 正式出品
第3回 レッドロータスアジア映画祭 正式出品
第31回 台湾国際女性映画祭 正式出品
第26回 ソウル国際女性映画祭 正式出品
第25回 済州女性映画祭 正式出品
第12回 ディアスポラ映画祭 正式出品

戦後80年を迎える今こそ、
耳を傾けたい声がある――

Photo by REVERSE

よみがえる声

THE VOICES OF THE SILENCED

監督:朴壽南、朴麻衣(共同監督)

2025年/日本・韓国(合作)/日本語・英語・韓国語/148分/DCP/カラー/16:9/5.1ch

歴史の闇に埋もれながら、なおも響き続ける証言の数々――
90歳の母から戦後世代の娘へ。ともに歴史の襞に耳を澄ます



90歳を迎える映画作家・朴壽南と娘の朴麻衣が共同監督 歴史に埋もれる声なき者たちの物語を刻銘に記録したドキュメンタリー

在日朝鮮人2世である映画作家・朴壽南(パク・スナム)は、2025年に90歳を迎える。彼女と娘の朴麻衣(パク・マイ)が共同で監督したドキュメンタリー『よみがえる声』は、約40年前から朴壽南が撮り続けていた16mmフィルムを基に制作された。広島や長崎で原爆被害を受けた朝鮮人、長崎の軍艦島に連行された徴用工、沖縄戦の朝鮮人元軍属、そして日本軍の「慰安婦」にされた女性たちの声なき物語を描き出す。

よみがえる声

監督・朴壽南、朴麻衣(共同監督)

2025年/日本・韓国/日本語・英語・韓国語/148分/DCP/カラー/16:9/5.1ch

母娘の絆が紡ぐフィルムの力に、国境を越えた称賛の声が響き渡る。

本作は2023年の釜山国際映画祭においてワールドプレミアされ、ドキュメンタリー部門でビーフメセナ賞(※第一席)を受賞。審査委員の原一男監督(『ゆきゆきて、神軍』)は「この作品を見た瞬間、ある存在を破壊する力を感じた」と激賞した。さらに、ベルリン国際映画祭では「豊かで脱植民地的なアーカイブ」としてフォーラム部門に正式招待され、ジャン・ルーシュ国際映画祭では「生きている遺産賞」を受賞。2025年2月の座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバルでもコンペティション部門で大賞を受賞した。時代の波に飲み込まれた記憶や歴史的事実を丹念に掘り起こし、多くの人々が見過ぎてきた真実に光を当てる。それは単なる過去の記録ではなく、私たちがいま直面する課題とも深く結びついている。

大好評につき、お正月アンコール上映決定！

※トークの日程、及びゲストは予告なく変更となる場合がございます。

2026年1月2日(金)よりポレポレ東中野にて

★1/2(金)・3(土)は上映後に朴壽南・麻衣監督によるトーク予定。上映時間は公式サイトもしくはお電話にてご確認ください
ポレポレ東中野 (03-3371-0088) JR 総武線「東中野」駅より徒歩1分/大江戸線「東中野」駅より徒歩1分

2025年12月13日(土)～19日(金) 横浜シネマリンでも再上映&朴壽南監督特集上映

★朴壽南・麻衣監督トークイベントあり

12/14(日)『よみがえる声』16:20の回上映前/13(土)『沈黙』・14(日)『アリランのうた』・19(金)『ぬちがふう(命果報)』各13:40の回上映後
横浜シネマリン (045-341-3180) JR 京浜東北線「関内」駅より徒歩5分/横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」駅より徒歩2分

